

2021 年 度 事 業 報 告 書

2021 年 4 月 1 日 から 2022 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人地域ケアネットワークゆいまある

1 事業の成果

2年に及ぶコロナ禍での事業継続、感染対策を最優先に、地域で暮らす高齢・障害者約490人の在宅生活を守り、担い手約100人の雇用を維持した。

1) 持続可能なゆいまあるに向け

- ・SDGs；部門横断委員会による検討会を5回開催し世界と日本の動向まで議論を深めた。今後の土台となる提言を報告書にまとめその結果、中計2023を1年ずらし、中計2022-2024の3年計画に変更とした。
- ・世代交代；都の介護職員就業促進事業で採用した3名が資格取得、デイやはちまんの人材確保につなげることができた。介護職員奨学金返済・育成事業申請、関連内規等、次世代獲得に向け整備を進めた。
- ・BCP；複数名が関連研修受講し構想中。渦中の感染症については発生時の暫定BCP作成～2月公表（HP）。

2) 食事業の再建～自立に向け

- ・1稼働平均食数は昨年度より5食減の74.8食で着地、未達成だが、新たな試みとして地域の事業所へ昼食提供が始まり、「障害のあるメンバーにも食べやすい」と好評を得ている。
- ・食事業開始時からの栄養士交代に伴う献立の整理やシステム改善等、属人性からの脱皮を図れた。

3) 在宅支援強化のため

- ・情報機器有効活用；各種会議や研修のオンライン参加にも慣れ活用が進んでいる。職員全体研修「介護事業者のリスクマネジメントとハラスメント対策」WEB視聴で実施。法人の取組課題も明らかに。

2 事業の実施に関する事項

1) 特定非営利活動に係る事業

(2) その他の事業…収益事業は行わない

事業名	内 容	実 施 時 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
ホームヘルプ事業	介護保険、市の総合事業、障害、制度外等の身体介護、生活援助などの訪問介護。学生の研修受	365日 7時～22時	東久留米市内 及び近隣の利用者宅	35人	高齢・障害 130人/月。 研修受入は近隣大学生等。	50,749
デイサービス事業	介護保険及び総合事業等の通所介護。食事、送迎、入浴、機能訓練、他	8時半～17時 月～金 (年未年始休)	ゆいまある 南沢ダイルーム	11人	高齢・障害 12人/日平均	27,126
居宅介護支援事業 (ケアマネジメント)	介護給付及び、予防給付のケアプラン作成、サービス調整、モニタリング、認定調査など。福祉相	月～金 9時～17時半 緊急電話は 365日24時間	ゆいまある 南沢事務所 ～市内利用者宅	5人	利用者；介護 189人/月、予 防33人/月 相談は誰でも	32,206
食事サービス事業	市の生活支援及び、支えあいの配食や安否確認。高齢者会食会への食事提供等。	月～土の昼 火～金の夕	南沢事業所厨 房でつくり、 市内利用者宅へ	19人	高齢・障害 190人/月	36,022
地域の居場所づくりの為に交流事業	コミュニティカフェの運営	平日10時半 ～14時半	カフェ笠松	6人	住民・ボラン ティア50人程/月	2,546
小規模多機能型居宅介護事業	予防含む介護保険の認定者対象で24時間365日、馴染みの関係で行う地域密着包括ケア。研修受入。	365日 24時間	ゆいまある はちまん及 び近隣の利 用者宅	11人	登録人数 19人/月平均	41,082